

Vol.107 No.3 2016.11.24		茨城大学農学部 労働組合
-------------------------------	--	-----------------

合同職場懇談会（10月21日）の報告 および 団体交渉に向けた方向性の確認

10月21日（金）12：10～12：50に、教職員合同の職場懇談会を開催しました。

参加者は教員22名、職員7名の計29名でした。

議題は、①今年度の人事院勧告に対応する状況について、②全大教第49回大会および教研集会の報告、③団体交渉に向けた要望などの意見交換、でした。

1. 人事院勧告に対応する状況について（伊丹先生）

今年度の人事院勧告では、俸給表を月額400～1500円、ボーナスで0.1ヶ月分のプラス改定が勧告された。今までマイナス改定時は常に「人勧準拠」が基本であったことから、今回も当然「人勧準拠」でそのままプラス改定で要求することを確認した。扶養手当は、配偶者に係る手当は減額（6500円）であるが、子に係る手当は増額（10000円）となることが報告された。

2. 全大教第49回大会報告（伊丹先生）

7月9日から10日に大崎南部労政会館（東京）にて全大教第49回定期大会が開催され、2015年度の活動報告「①賃金・労働条件を守り改善するための運動、②平和、人権、民主主義を守り発展させる取り組み、③組織と財政上の取り組み」について、また2016年度の運動方針「大学法人等との労使関係の構築、労使交渉、対等な関係、労使自治の確立、②大学・高等教育の充実に関する取り組み、③組合加入の大幅促進、④文科省、国大協、国立大学等への要求、⑤労使関係の改善、⑥教員の待遇および教育研究環境の改善要求」について議論されたことが紹介された。

全大教教研集会報告（伊丹先生）

9月9日から11日に宇都宮大学峰キャンパス（栃木県）で開催された全大教教研集会に参加し、A分科会（A2 特色ある教育実践の構築とその運営体制の維持に関する課題）とB分科会（B2 教員の待遇・労働条件と教育研究環境）の内容について報告された。A分科会では、実習は教員の専門とは離れた実習内容を担当するケースがある（高知大学地協働学部）、留学先の大学の開拓や単位取得の現実性に問題がある（首都大学東京）、COC+の取り組みで、諸センターが乱立し、教員定着の困難さがあり、運営において問題がある（島根大学）など、B分科会では、岡山大学の「60分授業・4学期制」についての多大な困難を抱えている現状について報告された。

3. 団体交渉に向けた農学部からの要望について

1）人事院勧告に従った給料体系について、2）非正規雇用者の勤務スタイルの多様化について、3）農学部学科改組にともなう事務員の増員について、の3点について団体交渉で交渉することを確認した。

秋耕祭 バザールくみあい ご協力ありがとうございました

10月29日（土）の秋耕祭に、バザールくみあい実行委員会は、「バザーとヨーヨー釣り」で参加しました。皆様のご協力をおもちゃして、無事に終えることができました。

この度のバザー開催に際し品物の提供、並びに当日のお手伝い等にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

当日は前日からの雨が心配でしたが、何とか晴れて暖かでした。今年は奥まった場所での出店でしたが、思っていたよりもお客様に来ていただけて賑わうことができました。お陰様で黒字となりましたので、経費を除いた収益は組合にカンパさせていただきます。

また来年も秋耕祭に参加する予定であります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2016年度「バザールくみあい」実行委員会

